

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	3か月ごと程に入居者様のモニタリング・カンファレンスを行いつついる。 その間にも、些細な事でも変化は起こっており、入居者様の現状に即した介護計画ではない。	チームで話し合い入居者様の些細な変化を見逃さず、予防的な関わり・支援がタイムリーに介護計画に反映されている。	月に一回程度の入居者のカンファレンス・モニタリングを行い、入居者様の状況に応じた介護計画に反映させる。	3ヶ月
2	35	年に2回の避難訓練(火災・津波想定)各1回ずつ行っており、秋の津波想定での避難訓練では自治会の参加もしていただけ。細めに職員と考える機会が少ない。	入居者様が避難出来るよう方法を全職員が身につけている。	毎月開催している、リスク委員会にて災害は節制時の対策について話し合い、常に全職員が意識を持つ。	1ヶ月
3	4	運営推進会議にて入居者様の参加がされておらず、外部からの意見を表す機会作りが少ない。	外部からの意見を表す機会を増やし、意見を取り入れサービスの向上に活かす。	運営推進会議において、可能な限り入居者様の参加を呼び掛ける。	2ヶ月
4	8	権利擁護に関する制度についての知識が施設全体として、まだまだ足りない。	職員の制度に理解を深め、入居者の個々の必要性の検討・活用支援ができるようになる。	施設内の勉強会に権利擁護に関する勉強会を開催し、職員の制度に理解を深める。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。